

佛教大学広報誌

# B-ism

佛教大学

No.23

B-ism  
No.23

発行日  
2021年(令和3年)12月20日

発行者  
伊藤 真宏

編集者  
広報委員会

編集・発行  
佛教大学広報課

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96  
TEL 075-491-2141(代表)  
www.bukkyo-u.ac.jp/

撮影場所 二条キャンパス



巻頭特集 | スペシャル対談

## 2 俳句を通じてひろがる、ことばの楽しさ

6 「授業参観」教員・研究紹介  
作業療法学科編  
保健医療技術学部 作業療法学科  
中西 英一 准教授

8 学生編集室の窓  
「青少年の行動は社会を映す鏡である」

10 B・I・I 研究報告  
クラブ・サークル見聞録  
12 12 クラブ・サークル見聞録  
13 Favorite 「先生のお気に入り」  
大谷 栄 教授  
「トートバッグ」  
14 輝きCloseUp 活躍する学生たち

15 Listen UP OB・OG 訪問  
前田 昌宏さん  
16 hot・TOPICS 大学の動向  
21 BOOK Information 教員著書紹介  
22 B-information みんなの掲示板



坪内 稔典 (つぼうち としのり)  
1944年愛媛県生まれ。立命館大学大学院修了。俳人、京都教育大学名誉教授、佛教大学名誉教授。2010年、『モーロク俳句ますます盛んー俳句百年の遊び』(岩波書店)で第13回桑原武夫学芸賞を受賞。主な著書に『柿喰ひ子規の俳句作法』(岩波書店、2005年)、『屋根の上のことばたちーねんてん先生の文学のある日々式』(新日本出版社、2020年)など。句集には『水のかたまり』(ふらんす堂、2009年)、『雲の寄る日』(ながらみ書房、2019年)など多数。『小学生のための俳句入門 君もあなたもハイキング』(くもん出版、編集協力・佛教大学、2018年)の監修を務める。

青砥 弘幸 (あおと ひろゆき)  
1981年岡山県生まれ。広島大学卒業、広島大学大学院教育学研究科修士課程修了、同博士課程修了。博士(教育学)。小学校、中学校講師。就実大学専任講師を経て、2014年より佛教大学専任講師。2020年より現職。専門は国語科教育学、ユーモア学。博士論文の題目は「国語科教育の改善のための「教育ユーモア」研究」(2011年)。主な著書に「新しい教職教育講座教科教育編 初等国語科教育」(ミネルヴァ書房、2018年)など。

句コンテストに成長しました。よく15年間も続いたものだと思います。  
青砥 弘幸 (以下、青砥)  
僕は第9回から選考にかかわりましたが、何万もの作品が入った段ボール箱の数に圧倒されました。一つの句の向こうに子ども

坪内 言葉を楽しむ体験がなければ、言葉と親しくなれない。だから言葉を楽しむことをコンテストの柱にしました。学校の国語教育は楽しむ要素にやや欠けているかもしれません。

坪内 句会では伝統的に作者を隠して鑑賞をします。

青砥 新しい学習指導要領では低学年で言葉遊びが入っています。しかし学年が上がると役に立つ言語スキルに重きが置かれる。そのあたりを僕も憂慮しています。

青砥 学習指導要領では

青砥 学習指導要領では

坪内 伝える力を養うことが国語教育の中心だと考えられていますよね。それは確かに大事だけれど、言葉そのものが何かを表現するというのも大事な要素です。

青砥 学習指導要領では

# 俳句を通じてひろがる、ことばの楽しさ



佛教大学 名誉教授

## 坪内 稔典

佛教大学 教育学部 准教授

## 青砥 弘幸

俳句を通して言葉の楽しさを体験してもらおうと2007年度から始まった「佛教大学小学生俳句大賞」。第15回を迎える今年度で最終回となる。これまでに約44万5000句もの応募があり、どれもがみずみずしい感性を輝かせている。第1回から選考委員長を務めた俳人の坪内稔典、佛教大学名誉教授と、青砥弘幸・教育学部准教授に俳句大賞が果たした役割について語っていただいた。

**楽しまなければ言葉と親しくなれない**

坪内稔典 (以下、坪内)  
小学生俳句大賞のはじまりは、当時の文学部長の原田敬一先生が「子どもたちに言葉の楽しさを伝えたい」と提案され、それに僕が乗った形です。それまでに小学生に俳句の授業を

していて、子どもたちが五七五の短い言葉でもとにもぶつかってくる感触が素敵だなと感じていたからです。

小学校の先生方は子どもたちに俳句を作らせても、その扱いが難しく、俳句大賞はその受け皿になった。職員員の努力でたくさん作品が集まり、全国有数の俳

授業でも、作者を隠してその日のチャンピオンを選ぶ。すると教室で一度もしゃべらなかつたような子の俳句が選ばれたりして、結構盛り上がる。皆でワイワイ選んで、どこが良いとか、どこを直せば良くなるとか、そうした議論が楽しい。しかし現場の先生から「授業は面白いけれど、はたしてこれは勉強なのだろうか」という反応もありました。

短い時間に五七五で表現しようとする、その子が身に着けた言葉が、瞬発力に支えられて出てくる。国語が得意でなかったり、あまり本を読まない子が素敵な句を作ったりする。その可能性のほうが、勉強より大切なんじゃないかと思えます。

**思ってもみなかった鑑賞に出会う価値**

青砥 学習指導要領では

伝統的な言語文化に親しむことを重視しますが、ではどうすればよいか。俳句は五七五の形式ですよ、季語を用いますよ、切れ字を入れますよとか、それを理解させることが親しむことであると考え先生方が意外と多い。そうではなく純粋に俳句を楽しみ、自分が思っていなかった鑑賞に出会う。その楽しさを味わうだけで価値があると思えます。

坪内 伝える力を養うことが国語教育の中心だと考えられていますよね。それは確かに大事だけれど、言葉そのものが何かを表現するというのも大事な要素です。

青砥 学習指導要領では

坪内 伝える力を養うことが国語教育の中心だと考えられていますよね。それは確かに大事だけれど、言葉そのものが何かを表現するというのも大事な要素です。

青砥 学習指導要領では





お題を出します。空にはイ  
ワシ雲があって、夏の雲と  
違う。色も青い。次に地上  
に視線を移すと駅があり、  
大学のキャンパスがあり、  
パン屋さんが開いている。  
その風景を七五で言ってい  
らん。すると言葉の積み木  
を重ねるように五七五の世

界がつくられていく。それ  
が言葉の楽しさです。  
**青砥** 小学生で言葉を増や  
すのもそうだし、言葉に対  
する感性を養うのも大事で  
すね。  
**坪内** 僕は真面目な小学生  
だったので、きちんと考え  
てからしゃべろうと心がけ

れて輝くという経験は新鮮  
です。  
**坪内** たった十七文字の俳  
句は、ものを言い尽くせな  
い文芸です。では何が面白  
いのかというと、作ったも  
のを仲間がすくに見てく  
れ、自分が気付かないこと  
に気付かせてくれる楽しさ  
だと思っ。作者の思いを超  
えた世界に言葉が生き生き

ました。すると考えている  
うちに話題が次に移ってし  
まい、だんだんしゃべらな  
い子どもになった。でも、  
本当はしゃべりたいん  
です。

5年生のときに先生が心  
配し、「意味なんか分から  
なくてもいいから、これを  
声にだして読みなさい」と  
詩集をくれました。「白鳥  
はかなしからずや空の青海  
のあをにも」なんて声を出  
しているよ、良い気分にな  
った。言葉にはこういう  
面もあると知って、僕は本  
好きになった。こんな機会  
がなければ僕は国語の教師  
にならなかつたかもしれ  
ない。

**生活の中の気付きが  
立ち上がる**

**青砥** 授業で習わなくて  
も、ある程度言葉はしゃべ  
れるし、生活に不便は感じ  
ない。だからなんとなく言  
葉と接していることが多く

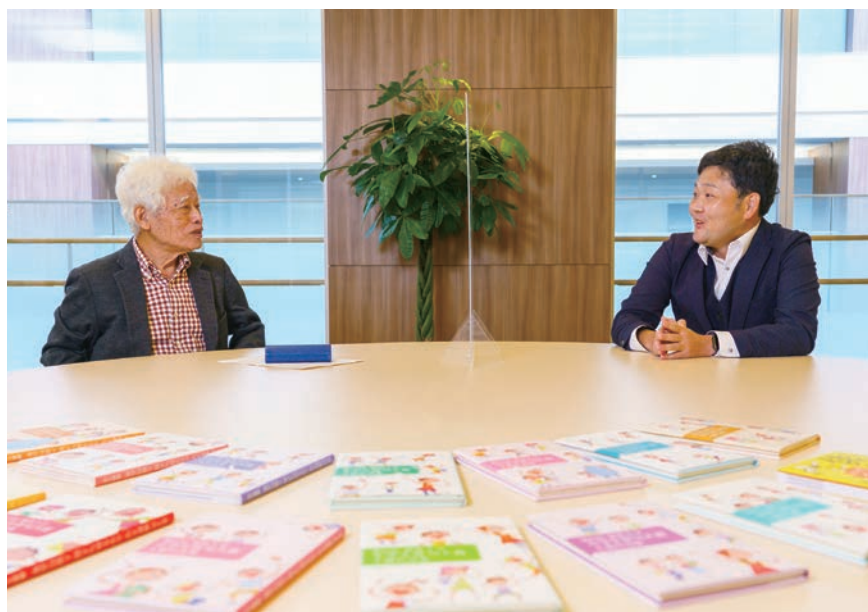
するのが醍醐味です。でも  
日本人って真面目だから、  
どついても作者の意図を  
重視する。そこは重要では  
ないですね。

**青砥** 俳句でも笑いでも、  
日常的なものの見方や感じ  
方ではなく、柔軟な世界認  
識とか視点を持つことが大  
事です。それを相手にもあ  
る程度共有できる感性や感  
覚を保証しながら、かとい  
って定型に収めない言語  
感覚みたいなものです。

俳句を授業で扱う難しさ  
があります。秋を題材にし  
ると、柿とか夕焼けとか、  
そんな言葉を使いがち。「俳  
句ってこんなイメージで  
しょ」とか、「こんなこと  
を言っておけばいいはず」  
みたいな意識がどついても  
子どもたちに働いてしま  
います。

**初めて見るような  
言葉のポイント**

**坪内** 選考では初めて見る



感じます。じつくり言葉と  
向き合う場面が必要です。  
それは言葉遊びでもいい。

**坪内** 教室という同じ場  
で、五七五という同じ制約  
の中で言葉と向き合うとい  
体の中に蓄えている言葉が  
思わぬ働きをして、あっち  
の言葉とこっちの言葉が  
くっつく。「言葉って意外

に面白い」「絵を描いたり  
ピアノを弾くのと似てる」  
と思ってくればしめた  
ものです。

**青砥** 集中して俳句を作る  
とき、言葉を通して、日常  
に向ける視点とか、気付か  
なかつた生活の中の気付き  
が一緒に立ち上がっていく  
。自分の俳句が自分を離

ような言葉があるかどうか  
を重視しました。一番記憶  
に残っているのは「弟の首  
がすわって夏が来た」(第  
3回・広島県世羅町立せら  
にし小5年、友定果音さ  
ん)。生命感にあふれ、大  
人には詠めない傑作やなあ  
と思いました。

**青砥** 僕は「たごけでいか  
もとびたいかもしれない」  
(第12回・鹿児島県鹿児島  
市立山下小2年、有川侃介  
さん)です。子どもらしい  
ユーモアの感性を感じまし  
た。お母さんが「ありのま  
まのこの子が評価されてう  
れしい」と喜んでおられた。  
**坪内** 褒められる体験って  
大切です。僕としては一つ  
の仕事が完結しましたが、  
あとは青砥先生たちにつな  
いでいきたい。

**青砥** いろんな子がいろん  
な思いで俳句を作ってくれ  
た。蓄積された表現に対す  
る思いを何らかの形で現場  
にフィードバックしたいと  
思います。

**第15回佛教大学小学生俳句大賞** 作品募集

応募資格 ● 小学生  
応募部門 ● 低学年の部(1~3年生) 応募締切 **2022年1月21日必着**  
● 高学年の部(4~6年生) 詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.bukkyo-u.ac.jp/haiku/>

第14回佛教大学小学生俳句大賞 最優秀賞作品

低学年の部 ぶくろをつげずにはしるかえりみち 兵庫県・伊丹市立伊丹小学校一年 もとなが あつさ  
高学年の部 冬の朝ミネストローネはぐたくさん 兵庫県・甲南小学校四年 橋本 千佳

今年で最終回!!!  
テーマは自由!  
どんな俳句でもOK!

全国の小学生のみんなから投稿を募集!!



今日の授業

「様々な支援技法の実際」

この日の講義は3年生39人が受講。11月から始まる実習を前に、現場での様々な支援技法を中西先生が解説した。患者本人と接する時には必ず十分な説明をしたうえで、本人を中心に主体的な力が発揮できるように寄り添っていくこと（エンパ



ワメント）や「どうやって本人のやる気を引き出すか」なども指導。学生らは相手の気持ち、感情、思考、価値観を正確に言葉にして聞き返す「共感」の大切さを学んだ。

共感の実践練習として「隣同士『最近腹が立ったこと』『感情的になったこと』をテーマに話し合ってみよう」と中西先生が呼びかけると、学生たちは隣席同士でさっそくトライ。時折笑い声も上がる和気あいあいとした雰囲気でした。

受講した大山裕貴さんは「いろんな技法に実際に取り組みながら学べるのでよく理解できて自分の中で定着しやすい。患者さんの立場で聞く大切さを中西先生はとても重視されていて勉強になります。急に『架空の話を作ってやってみて』と言われ、最初は戸惑いましたが、今はすぐできるようになりました。実践的に繰り返し、自分がどれだけやっているかも確かめられる。失敗しても否定されず、『それならこうしたらどうだろう』と先生が肯定的に示してくれます」と話していた。竹山颯（はやて）さんも「本番の現場に近い実演がたかさんでできる。先生自身の失敗談も必ずばと話してくれて参考になる。先生は『正解はないよ』

いつもおっしゃっているの、思っていることを言いやすい環境が常にあります」と笑顔を見せた。



敗してきた』と伝えることで、学生にちょっと勇氣も持ってほしい。失敗をフィリターにかけず等身大の経験を語るようにしています。ほっとしてもらいたい応用できるヒントになればいいなど願っています」セラピストとしての立ち位置、臨床での接し方に正解はないと繰り返し学生に強調している。「現場でどう応用できるか。いつも学生たちに自由に考えようと言っています。そのためにも私たち自身も自由になっておか

ない。常識を疑っていかないと新しいアイデアは生まれてこない。作業療法は、科学とアートです。科学的な根拠のもと、豊かな創造で実施することがとても大事です。退院が難しいと言われていた重度な精神障害の人が、外で生活したり、仕事をしたりと可能性を一步進んで考えていくように」

講義では専門分野だけでなく、哲学、芸術、心理学、政治経済、小説、マンガと幅広いジャンルで中西先生が読んだ本から抜粋した文献も提示。「月10冊読書する」と言う中西先生自ら読

書の面白さと幅広く多くの本を読む重要性も説いている。「自由自在、柔軟に。自分で考え行動することが大事。セラピストである自分がどういう立ち位置かは、大学を卒業したら誰も教えてくれません。そのため自分で考え試行錯誤する必要があります。講義では、短期で伸びるかどうかわかり、今、十分に理解できていなくても10年ぐらいい動いて『あの講義の意味はこれだったのか』と分かってくれたら。その時、パズルのピースが合えば本望です」と中西先生は笑顔で浮か



べる。以前の勤務先の元教え子が中西先生に会いに来てくれた。「10年経って『教わったことが現場で役に立った』と言ってくれました。うれしいものです」

学生へのメッセージを中西先生に聞いた。哲学者の

「深い意味があるので皆さんも考えてほしい。弱い人に対する理解や行動はこちらの自由に任されているのです。自由とは何か。自由を謳歌する大学生活で発想を自由にしている取り組みが大事です。学問はそういうためにあるのではないのでしょうか」



「共に学び、10年先役立つ講義に」  
作業療法士の現場を教室で仮想体験

保健医療技術学部 作業療法学科 准教授

中西 英一

中西 英一（なかにし えいいち）1969 年京都市生まれ。神戸大学医療技術短期大学部作業療法学科卒業。神戸大学大学院医学系研究科修士課程修了。修士（保健学）。兵庫県姫路市の民間精神科病院のリハビリテーション部門に勤務後、藍野大学医療保健学部作業療法学科准教授を経て2020年4月から現職。ライフサイエンス/リハビリテーション科学専攻。研究課題は精神障害者に対するスティグマ除去のプログラム開発、精神障害者に対する作業療法治療理論。著書に「地べたから考える精神科作業療法」（CBR、2021年）、共著書は「知覚に根ざしたリハビリテーション：実践と理論」（CBR、2017年）、「障害受容からの自由：あなたのあるがままに」（CBR、2015年）、「リハビリテーションのための人間発達学 第2版」（メディカルプラス、2014年）など。大阪府茨木市総合保健福祉審議会障害者施策推進分科会専門部会委員。



作業療法士は様々な患者に寄り添う、心身のリハビリテーションの専門家である。中西英一先生の「精神・社会系作業治療学演習」では学生同士によるロールプレイングなどにより仕事を仮想体験する。中西先生は自らの臨床での失敗経験も積極的に語り現場の大変さを解説。国家資格取得後の臨床現場でのセラピスト本来の立ち位置と実践を学生と共に探究し、10年先の臨床現場でも役立つ講義を指している。

支援技法、その理論的背景や効果をどう測定するのかなどを学ぶ。

学校で学んでも、臨床現場では教科書に載っていない想定外の事象が数多く起こる。作業療法士には柔軟な思考で臨機応変に対応できる応用力が求められる。講義は実際に作業療法士が働く現場を仮想体験できるような、ビデオ映像や患者本人との面談を仮想した学生同士によるロールプレイングなどを取り入れて進む。教室にいながら学生は臨床現場を常に想像し、意識できる。

療士は見知らぬ他人同士。患者本人は環境や病状によって日々大きく揺れ動くことも少なくない。何気ないささいな一言や行為が本人を傷つけ影響を及ぼす可能性もある。ささいなことが事故のきっかけになってしまうことすらある。さらに家族への支援や他職種との連携も重要になる。

医療機関や障害者支援施設、特別支援学校など様々な場所で作業療法士は活躍する。作業療法士は患者の心身の機能改善だけでなく、本人が望む日常生活がおくれるよう能力向上、道具や人や周囲の環境づくりなど様々な方法で支援し、地域で生きがいを持って生活できるよう治療と支援を進める。学生たちは精神障害を持つ人に対する様々な

「一番邪魔なのは『専門家である』というプライドと常識です。患者さんと対する時、それらが理解をゆがめ、害となってしまうかねえいから」

臨床現場で当事者と作業

療法士は病棟で問題を起こし病棟からも出て来られなくなった。中西先生は「今振り返ってみると自分もできるといふ対抗意識が出た。全部自分のせい」と深く悔やんだ。

自身を題材に失敗談を話すのはなぜか。「臨床は一歩間違うと危ない」こと。一方で『先生もたくさん失



# 佛大 BUTSUDAI なろう NOW!

## 青少年の行動は社会を映す鏡である

プロジェクト演習は、学生が大学を飛び出して社会の現場で学びを考える、という実践型の授業です。2年生を対象にした社会学部の看板科目で、毎年8クラスが開講されています。私たちは作田教授と京都北警察署の方々の協力の下、「SNSの使い方」をテーマに取り組みました。また、作田ゼミで実施した「立ち直り支援」では、警察官の方々が関わっている補導経験のある少年たちと一緒に農業活動やスポーツ等の身体を動かす活動を行っています。受講した学生が、学んだことや大変だったこと、体験談を語ります！

### 中学生の SNSの利用実態を調査

近年、スマホの普及に伴って活に欠かせないものとなっている。SNSが中高生までにおよび社会問題となつていきます。北警察署の方によると京都府でもSNSを通じて未成年がトラブルに巻き込まれる事件が増えているそうです。私たちは京都市立西賀茂中学校でSNSの使い方について授業を行いました。



まず、中学生のスマホ所有率の調査から始めます。私たちが中学生の頃、スマホを持っていないのはワラズでも2、3人だったのでありますが、今は8割程度だといふことがわかりました。中学生にとっても生

### 警察と一緒に立ち直り支援活動

作田ゼミでは、佛大の最寄りの警察署である京都北警察署の少年係の方々と合同で少年の立ち直り支援活動を行っています。参加する少年は、過去に万引きや深夜徘徊で補導された経験のある子どもたち、家庭環境に問題がある子どもたちと呼ばれる



子どもたちに先入観がありました。しかし、実際は周りの子どもたちと何一つ変わらない子どもたちばかりだということ新しい発見がありました。この立ち直り支援の活動から子どもたちが非行に走ってしまうのは、子どもたち自身よりも周りの環境や社会の目のほうに問題が多くあるということを知り、少しでも社会の非行少年に対する見方を変えていきたいと思うようになっていきます。

**編集後記**  
今回の活動で、自分の子ども時代を思い出し、改めて多くの方々に支えられて生きてきたと感じました。子どもは良くも悪くも素直であり、SNSが発達した今、サポートする大人の存在がとても大切になってきているのです。今後も地域と連携し、青少年のサポートをしていきたいと思っています。

社会学部 現代社会学科 **作田誠一郎** 教授



先生からの一言

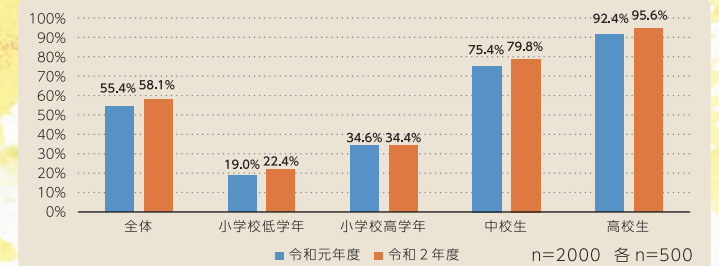
ゼミでは、学生が主体となって青少年の諸問題を中心に自ら考えて行動できるような環境を整えてきました。今後もゼミの学生の皆さんには、身の回りにある諸問題を社会の問題として捉え、自身のアイデアや企画がその問題の理解や解決の糸口になるように楽しく充実したゼミ活動を進めてもらえればと思います。

### なうな掌話 第二十六

#### 驚き！子どもたちのスマホ所有率！

東京都の都民安全推進本部の調査によると「小・中・高校生のスマホ所有率」は、年々増加傾向にあり、中学生だけでも80%近い子ども達がスマートフォンを所有していると言われています。

スマホ所持率の増加と比例して小・中・高校生のSNSトラブルの相談件数も年々増加しています。今こそ子どもたち自身にインターネットの危険性と安全に利用する使い方を学んでもらう必要性が高くなっています。







# 「誠実に向き合い、素直な気持ちで語り合おう」 「コロナ下、非常時の子どもの権利を語り合う絵本出版」

社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 **長瀬 正子**



長瀬正子先生は児童養護施設等で育った子ども・若者の権利や支援策など社会的養護の研究を続ける。2020年春、新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、国連の子どもの権利条約とコロナ下を受けた声明を、やさしい言葉とイラストで解説したワークブックを仲間と自費出版した。賛同が集まり、翌年2021年にはさらにかみ砕いた言葉に推敲し「図書館に置ける絵本に」と単行本を企画。9月に出版が実現した。講義でも絵本を使い、子どもに寄り添い社会全体で支えるためにはどうすべきか学びを深めている。

「子どもにだれも説明しない」  
休校で置き去りに危機感

新型コロナウイルス感染拡大で2020年3月、学校が全国一斉に休校になった。長瀬先生には現在小学4年の子どもがいる。突然の休校であるにもかかわらず、その状況の説明を専ら保護者が担っていた。「政治家も

教育現場も感染防止を強調するだけで子どもに何も説明しませんでした。外国では子ども向けに記者会見をした国もあるのに、日本は、子どもを置き去り、『なんやねん』と思いました」  
**コロナ下における国連声明  
かみ砕いた言葉で絵本化**  
国連・子どもの権利委員

会は2020年4月8日、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する声明」を出した。2日後、子どもの権利に関する国際文書の翻訳を多く手がける平野裕二さんが日本語訳をホームページで紹介した。  
声明は1989年に国際条約として採択され、

1994年に日本も批准した「子どもの権利条約」をもとにしている。条約は「命を守られ成長できること」「差別のないこと」「子どもにとって最善の利益を考慮すること」「子どもが意見を表明し参加できること」の4原則が柱。声明は「コロナ下でも子どもの最善の利益を追求する」「子どもの

さらに友人のmomosaんに声明に添える11種類の絵をブログ用に依頼。出来上がった絵に長瀬先生は心が優しく満たされた感覚になり「絵本にできたら」と思い立ち『子どもの権利と新型コロナウイルス』と題した自主製作の絵本を企画。子どもが自由に気持ちや思いを書き込めるスペースも各ページに入れた。  
本は新聞各紙に取り上げられ1年足らずで4版計2900部を完売。「子ど

もの気持ちに気づかされた」「権利の説明が難しい」など様々な反響も多く寄せられた。2021年4月、絵本を専門とする編集者と出版社につながり、「もっと多くの人が読めて、図書館に置ける単行本にする」プロジェクトがスタート。長瀬先生らは推敲を重ね、同年6月、単行本の絵本作費と子どもの支援をしている現場に本を届けるクラウドファンディングを

展開。256人が支援金を寄せた。絵本『きかせて あなたのきもち』子どもの権利ってしってる?』(ひだまり舎)の完成後、約80の子ども支援団体へ絵本を寄贈した。本はいろいろな気持ちを感じて生きる大切さ、人間らしく生きる権利がだれにもあることを、子どもと同じ目の高さから語りかける内容となっている。

**条約知り  
「私だけじゃない」**

長瀬先生が子どもの権利を意識したのは中学生の時。校則で髪は伸ばせず、前髪の長さも決められ、くせ毛でも髪型を注意された。通学が辛くなり休みが

ちになった時、家で購読していた子ども新聞に子どもの権利条約の記事が載った。記事は日本の批准が諸外国より遅れている問題点を特集していた。「記事を読んで『つらいのは、私のせいだけじゃない』と思いました」と振り返る。  
大学で教育学部に入ったが管理教育の記憶から教師になるのは抵抗があった。大学3年の時、新聞記事で大阪市内の市民講座を知り参加。「学びから社会へ」と学びが具体的に社会を変革していくことにつながる講座で目を開かされた。公民館職員など社会人受講生と交友が始まり、児童養護施設で育つ子どもの居場所の立ち上げに参加。

日常生活で子どもと大人がどう折り合うか考えたいと思ひ、大学院に進んだ。  
当時、児童養護施設では職員が社会問題になり、子どものため、カナダのトロント市を参考に自治体レベルで子どもの権利ノートが配られるようになっていた。「社会的養護で育つ子どもが最も権利を奪われている」と問題意識を持った長瀬先生は全国の自治体で作った権利ノートを実態調査。以前はたかれることも多かった施設でノートができたことにより、暴力事例が減少したという。「すごい変化だと思ひました」  
**だれも味方がいなくても  
読めば味方になる絵本**

た子どもの実情に大人が誠実に向き合い説明しようとしていて感銘を受けた。「私自身、子育てで絵本に助けられました。子どもと共通言語をつくり『たすけて』が言える本が必要だと思ひました」  
今回出版された絵本はこれらの経験が生かされている。たとえ周囲に味方はいない子どもがいても、絵本を読めば、絵本だけが味方と思ってもらえるように作られている。絵本のワークブックは大学のゼミでアイズブレイクに活用し楽しんでいる。「コロナで外に行けずとも内面世界を豊かにすることはできる。今の日々を、書き出す、記録にすることも今後を生きる知恵になるかもしれない。私自身は、コロナ下でも浮き彫りとなった理不尽な社会状況があるなかで、今後子どもたちの権利をはじめとした人権について知り、考える作品をつくっていきたい」



長瀬正子 (ながせ まさこ)  
愛知県出身。大阪府立大学社会福祉学研究所 満期取得退学、社会福祉学博士。社会的養護で育つ子どもや若者の権利を保障するための理念や方法を研究。2017年から子どもと大人の対話を続ける多様な絵本を紹介するウェブサイト「ちいさなとびら」をインターネットで運営する。主な著書に絵本『きかせて あなたのきもち 子どもの権利ってしってる?』(ひだまり舎、2021年)、『シリーズ 子どもの貧困①生まれ、育つ基盤』(明石書店、2019年)、『社会的養護の当事者支援ガイドブック』(Children's Views & Voices、2015年)など。

2014年にトロントを旅した。子育て・養育に特化した絵本を売る書店に、刑務所に保護者がいる子どもたちのための絵本や、多様性を説明する本もあった。社会で少数派の状態に置かれ



Hello!!

クラブ・サークル見聞録

彼は

「やさしい監督」「楽しいメンバー」「こだわりの活動内容や伝統」など、  
佛教学のクラブ、サークルといった課外活動団体の彼は(あれこれ)を  
部員が自ら紹介、語ってくれます。

バスケットボール部



個性派ぞろいの男子、「走るチーム」を目指す女子！

社会学部現代社会学科1年生 龍澤 碧音さん  
教育学部教育学科2年生 高本 美琴さん

バスケットボール部は、男子チームは部員10人で活動しています。関西学生バスケットボール連盟3部に所属し、2部昇格を目指しています。女子チームの部員は16人で、同連盟4部から3部に昇格することを目標に日々、汗を流しています。

活動日：(男子)月曜、木曜、金曜、日曜 / (女子)月曜、木曜、土曜  
活動場所：廣陵館



で、敏捷性や体(フィジカル)を鍛える練習をして、試合ではコート中を精神的に動くことを意識していますね。私自身は中学校の教員を目指しているの、指導者の目線でもバスケットボールを見るようになりました。将来は子どもたちにスポーツの楽しさを伝えたいと思っています。

女子は、コロナ禍で活動が制限されている状況でも、多くの1年生が入部してくれたことがとてもうれしかったです。今シーズンも夏までに終了する予定だったリーグ戦が秋に入っても続ける、イレギュラーなスケジュールに困惑することもありましたが、ようやく来春には、トーナメント形式の試合が再開される予定です。これまでに備え、しっかりと『走るチーム』を作ってきたと思っています。バスケットボールの楽しさは、苦手なことがあってもみんなが補い合って、一人ではできないことが実現できることです。スポーツで仲間とつながる楽しさを感じています。

男女とも廣陵館で練習していますが、時には男女混合チームで練習試合を行います。それぞれの良さを吸収し、共に切磋琢磨を続けています。サークルと異なる部活の良さは、学生連盟に所属して公式戦に向かっていること、とても仲のいいチームなので、一度、見学や体験入部に来てください。初心者も経験者も大歓迎です！

雅楽会



優雅な装束をまとい、伝統音楽に触れる楽しさ

歴史学部歴史文化学科2年生 大寺 泉さん

雅楽は1200年以上の歴史があり、現在も宮内庁楽部を中心に伝承される古典音楽です。雅楽会では日本の伝統音楽を、演奏を通してより多くの人に伝えていこうと活動を行っています。現在は3年生1人、2年生3人が雅楽の魅力に触れています。私は子どもの頃に神社で雅楽を聴き、西洋音楽と全く異なる音律に魅せられました。演奏したいと思うようになりました。佛教学に雅楽会があることを知って、入学を決めたと言ってもいいです。ほかの部員は、古いアジア文化に触れたかった、日本の平安時代の衣装に興味があったなど、入部理由はさまざまですが、みんな楽しんでながら古典の世界に浸っています。

活動日：月曜、金曜  
活動場所：教室、鹿浜館



がっているところが大きな魅力です。発表会では、烏帽子や直垂など、古典の教科書でしか見たことのない装束を身につけて演奏できるのもうれしいですね。

雅楽には舞楽(舞と楽器演奏)と管弦(楽器演奏)があり、管弦には笙、篳篥、龍笛という三種の笛類からなる管楽器のほか、弦楽器、打楽器があります。雅楽会に入部すると、管楽器のうち一つを選んで稽古を始めます。私は龍笛を選びました。初めはなかなかいい音が出せなかったですが、きれいな音が出た時の喜びは、言葉にすることもできないほどのです。現在は、龍笛だけでなく舞も稽古しています。

稽古を見てくださるのは、雅楽の普及に熱心な「市比賣神社」の宮司さんなど。雅楽を始め、礼儀はもちろん、立ち居振る舞いまで美しくなったように感じます。楽器も舞も、うまくならない時は稽古するしかありません。伝統を感じながら、丁寧に稽古を積んでいきたいと思っています。



先生のお気に入り「トートバッグ」

第二十一回 社会学部 現代社会学科 教授 大谷 栄一 先生の巻



大谷栄一(おおたに えいいち)  
1968年東京生まれ。東洋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士(社会学)。専門は宗教社会学、近代仏教。2009年4月に佛教学部社会学部准教授に着任、2016年4月より現職。日本の近現代仏教の研究に取り組んでいる。主な著書に「ともに生きる仏教」(編著、ちくま新書、2019年)、「日蓮主義とはなんだのか」(講談社、2019年)、「近代仏教というメディア」(ペリカン社、2020年)、「戦後日本の宗教者平和運動」(編著、ナカニシヤ出版、2021年)など。日本宗教学会賞、中村元賞、望月学術賞を受賞。

思い出も、重い古本も、たっぷり詰め込んで

トートバッグ愛用歴は約16年です。2005年3月、東京で開催された国際宗教学宗教学史会議(I.A.H.R.)の世界大会に参加。約1700人の参加者に配布されたのが、プログラム入りトートバッグでした。参加費込みとすれば一番高額のコレクションで(笑)、出張時の着替え入れなどで重宝しました。同年11月、アメリカ・フィラデルフィアで開催されたアメリカ宗教学会(A.A.R.)の学術大会でもらったトートバッグはカラフルな図柄で、翌朝、会場のホテル1階のカフェに同じバッグを持った人が大勢並んでいた光景が印象に残っています。この頃から、私の所属する学会や参加したシンポジウムでトートバッグが配布されるようになり、自然と活用するようになりました。

大学出勤はリュックのサブバッグとして、休日は単独で持ち歩きます。洗濯できる布製、持ち手はショルダータイプでほどよいサイズ感、シンプルなデザインが好みます。学内で使っているのは私の似顔絵入り。ゼミ1期生が数年ぶりに来てくれたのですが、あいにく不在だったため、研究室の扉のメッセージボードに

イラスト入りメッセージを残してくれました。それをスマホで撮影して衣料品店で作成した一点ものです。「似ていますね」と声をかけられることもあり、少し照れくさいけれど丈夫で大容量な点を含め、とても気に入っています。

近代仏教研究関連の古書店通い用としてもトートバッグは欠かせません。なかでも京都で年3回開催される古本市(京の三大古本まつり)では大活躍してくれます。お目当ての仏教専門書店の位置を事前にチェックし、可能なかぎり初日の朝に出かけ、持ちきれないほどの重さに満足しながら帰路につくパターンです。

ほかにも、香川県・直島の李禹煥美術館で買ったオリジナル、ワークショップで作った明治時代の新仏教運動のメンバーの肖像入り、私のトートバッグ好きを知る学生からの誕生日プレゼントや海外土産など、どれも思い出も愛着もあるものばかり。その日の気分や目的に合わせて選べる楽しさがあります。



B-ism  
2021  
December



OB  
OG  
訪問

Listen UP

# 目に見えぬ縁に結ばれ、 仏師の道を歩む

仏師・僧侶

## 前田 昌宏さん

佛教大学 文学部 仏教学科卒業



### 仏像盗難事件がきっかけ

和歌山県のお寺に生まれた前田昌宏さんは、佛教大学を卒業して3年後、仏師として独立した。仏像を彫る職人だ。佛教大学宗教文化ミュージアムの特別展のための仏像を制作しながら「木と向き合い、彫刻刀を動かしているのがすごく幸せ」と物静かに語る。前田さんが仏師を志したのは、中学2年の時のある「事件」がきっかけだった。

その日の早朝、いつものように寺の大師堂にお勤めに行くと、あるべき薬師如来像がない。当時、周辺で仏像の盗難が相次いでいた。警察官が「返ってこないだろう」と言うのを聞き、「僕が彫る」と任職である父たちに宣言した。

進学した高野山高校で、仏師でもある美術の先生に出会う。「仏像を彫る



前田 昌宏(まえだ まさひろ)

1973年和歌山県生まれ。91年、佛教大学別科(仏教専修)に入学すると同時に通信教育課程文学部仏教学科に入学。92年に浄土宗教師(浄土宗僧侶)資格を取得。93年に別科を修了し、通信教育課程から通学課程の文学部仏教学科に転籍した。96年卒業。卒業後の99年に仏師として独立し、現在に至る。浄土宗浄土院仏師僧。浄土宗芸術家協会常任理事。妻と息子2人の4人家族。



「泥棒には感謝できませんが、目に見えない縁が結ばれたんだと今になって思います。そう語る前田さんにとって、仏像とは何だろうか。「身近な感じがしますよね。仏像を彫る過程でいろいろな方に触れてもらうようにしています。見て、触れて、何かを感じてもらえたらと思います」

B-ism

2021  
December

るのが楽しいですね。そして、それを知った上で文章を書くのが楽しい。大学に入って分かった楽しさです」

### 派遣社員として働き、ヒエラルキーを感じた

社会学に関心を持ったのは、自身の経験からだ。若い頃、大手総合機械メーカーでロボット開発などものづくりに携わりたくと考え、派遣社員として働いた。「専門学校卒で正社員は難しいですよ。そのため、希望をかなえるために派遣社員になりました。派遣先では、正社員と同じ服を着て、同じ机で、同じ仕事をしたので、目に見えないヒエラルキーの存在を感じました。こうした社会の矛盾に、ずっと関心を持っていました」。長女が2、3歳の頃、平日の昼間に公園に連れて行く可他にお父さんの姿はなく、不思議に感じたこともある。「社会学を学んで世の中の仕組みがだんだんと分かってきたように思います」と話す。

大学では学友会の神戸・丹波支部の支部長を務め、学習会などの活動に励む。「進学するまで人との交流は会社組織の中だけでしたが、今は学校という新しい社会を見つけたと感じています。年齢層も幅広いのですが、フラットに話ができる仲間です」

学生生活のもう一つの楽しみは、スクーリングなどで京都に行くことだ。長女も京都市内の大学に進学し、京都で暮らす。「娘の家に行くと同じ大学生目線で議論することもあります」とうれしそうに話す。

加村さんは現在、高校情報科の教員になるという新たな夢に向かっていく。「変化の早い今の社会では、自分自身のスキルを常にアップデートしなくてはなりません。自学自習の能力を各個人が身に付ける必要があります。その手助けをしたいと考えました」。加村さん自身も、オンライン授業のスキルを身に付けようと自宅にビデオスイッチャーやミキサー、動画作成ソフトなどをそろえ、楽しみながら発信の練習をしているという。「充実しています」。そろえた機材を前に、加村さんは笑顔でそう話した。



稽古の合間に娘さんと

写真 = ご本人提供

娘の進学サポートがきっかけ  
「働きながら、大学で学ぼう」。当時47歳の加村友多さんは決意した。2018年、高校2年生だった長女が進路について悩み始め、大学について調べるうちに自分が進学しなくなったのだ。「通信制大学というものがあると初めて知りました。自宅でテキスト中心の学習ができるのは魅力的。専門学校卒だったので、大学を出たいという気持ちがありました」。加村さんは中学生の頃からアマチュア無線やコンピュータを趣味とし、進学した京都市内の専門学校ではファクトリーオートメイションを専攻。卒業後も主に電気制御設計の仕事が続いていた。  
しかし、進学先は社会学部を選んだ。「面白そうだなと思って。仕事は技術職ばかりだったので、どうせ学ぶのなら違う分野がいいと考えました」。長女が京都の大学に関心を持ち、加村さん自身も京都の学校の卒業だったため、京都の大学を中心に調べていた。結局、社会学部のある佛教大学通信教育課程への入学を決め、専門学校卒業を入学資格として2019年4月に3年次に編入した。  
今、勉強する喜びを感じている。「知らなかったことを知ることができ

姿を見て、こういう仕事ができたらいいなと思いました。先生の工房には、腕や顔が欠けた仏像が修理を待って並んでいた。「皆が仏像に手を合わせる姿を見て育ったこともあり、仏像が朽ちてしまふのは嫌だな」と感じましたね」  
仏像彫刻を先生から教わり、薬師如来像を高校の3年間で作り上げた。仏師への想いは強くなっていった。

### 別科(仏教専修)に入学

父も佛教大学出身。前田さんも当然のように佛教大学別科(仏教専修)へ進んだ。2年間集中して修行するコースだ。僧侶の免許に当たる浄土宗教師資格も取得する。「浄土学寮という寮の2人部屋に入って共同生活を送り、法要の作法などを徹底的にたたき込まれました。今でも付き合っている友人がたくさんできましたね」  
別科と同時に通信教育課程にも入学し、別科修了後に通学課程の文学部仏教学科に転籍した。「大学生をやって

卒業後も京都に残り、トラック運転手の仕事を続けて独立資金をためた。やがて、学生時代の人とのつながりがまたつながりを生み、仏師の仕事を得ていく。インドの仏心寺の本尊を無償で彫ったことがきっかけで、神戸市で仏像教室を開くことにもなった。「人とのつながりが財産だなんて思いますが」。約15年前に始まった仏像教室は8カ所が増え、佛教大学オーブンラーニングセンターでも仏像教室の講師を務めている。

「泥棒には感謝できませんが、目に見えない縁が結ばれたんだと今になって思います。そう語る前田さんにとって、仏像とは何だろうか。「身近な感じがしますよね。仏像を彫る過程でいろいろな方に触れてもらうようにしています。見て、触れて、何かを感じてもらえたらと思います」





ホームページ  
総合研究所開設30周年「佛教大学総合研究所30年の歩み」  
https://www.bukkyo-u.ac.jp/labo-30th/



### Pick-up symposium

#### 総合研究所 東日本大震災公開シンポジウム

2011年10月22日～2012年11月10日に6回にわたり開催。未曾有の大災害に直面し、復興に向けた取り組みへと結びつけるため、仏教、文、歴史、教育、社会、社会福祉、保健医療技術の7学部がそれぞれの特色を活かして、何を行うことができるのか、何を行うべきなのかを考え、社会に発信しました。

#### 仏教学部

●2011年10月22日

「今問われる人間 一智者のふるまいをせざるして」

#### 歴史学部

●2011年12月3日

「今問われる人間 一歴史学が語る日本人の災害観と地震災害」

#### 教育学部

●2012年3月25日

「今問われる人間 一被災地における特別支援教育の役割」

#### 社会福祉学部

●2012年6月12日

「今問われる人間 一在宅避難世帯とコミュニティづくり」

#### 保健医療技術学部

●2012年10月6日

「今問われる人間 一大規模災害時における保健・医療支援のありかた」

#### 文学部・社会学部

●2012年11月10日

「3.11以後を考える『新しい社会の構想力』」

#### 「3.11社会と人間に問われるもの 一東日本大震災シンポジウム」

●2013年3月刊行

6回のシンポジウムの内容をまとめ、書籍として刊行しました。

(佛教大学総合研究所  
編集・発行、ナカニシヤ  
出版)

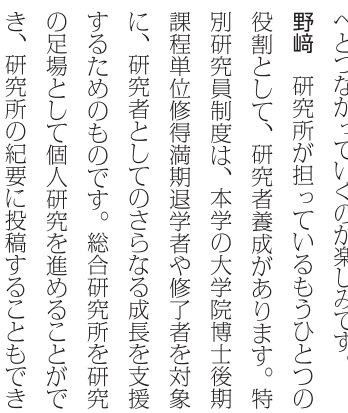


B-ism

2021  
December



野崎 教育学部の松村京子教授らの「教師の指導力『気づき』の解明のための国際的・学際的研究—教育実践学と脳科学の融合—」も、教育実践と脳科学を結びつけるという新機軸を打ち出して興味深いものです。  
伊藤 面白いですね。これらのプロジェクト研究はどれも現代社会をリードする内容で、大いに注目されるのではないで



野崎 少しでも可能性があるのならやってみようというチャレンジ精神は、総合研究所が30年間貫いてきたことです。私は学部や研究分野の垣根を越えて、また狭い意味の業績至上主義にとらわれることなく、多様なかたちで、発展性のある研究活動が行われてほしいと願っています。それをサポートするのが総合研究所の役割だと思います。  
伊藤 30年間培われてきた視座が確実に結果していますし、また新たな研究構想へとつながっていくのが楽しみです。  
野崎 研究所が担っているもうひとつの役割として、研究者養成があります。特別研究員制度は、本学の大学院博士後期課程単位修得満期退学者や修了者を対象に、研究者としてのさらなる成長を支援するためのものです。総合研究所を研究の足場として個人研究を進めることができ、研究所の紀要に投稿することもでき



ます。現在の在籍者は15人です。  
今後は、大学の本分である教育と研究をいかに結びつけ、相乗効果を生むか、また「佛教大学はどうあるべきか」という根本を問い直す考察も重要です。こうした取り組みによって、総合研究所の研究水準をさらに高めていきたいと考えています。

#### ▶プロジェクト研究

「With コロナ時代の看護学生に対するVR（仮想現実）臨床実習法の開発およびキャリアデザインの動向調査とその支援」（2021～2023年度）

▶研究代表：安居幸一郎 保健医療技術学部教授  
▶VR教材などヴァーチャルな臨床体験ができる次世代型の看護実習法を開発し、看護学生の価値観とキャリアデザインに与える影響を調査する。

#### ▶プロジェクト研究

「教師の指導力『気づき』の解明のための国際的・学際的研究—教育実践学と脳科学の融合—」（2020～2022年度）

▶研究代表：松村京子 教育学部教授  
▶日本とフィンランドの教師の指導力調査や、授業中の児童の行動に気づく教師の能力に関する視線分析、気づく能力の脳内機序について、学術的に明らかにすることを目的とする。

#### ▶プロジェクト研究

「社会的マイノリティ集住地域における『まちづくり』の総合的研究」（2018～2021年度）

▶研究代表：後藤直 教育学部教授  
▶コミュニティの歴史・文化・現状等を総合的に把握・分析し、様々な背景や事情をもつ人々が共に生きるまちをつくる。「共生のまちづくり」に向けた展望を検討する。

#### ▶常設研究

「南丹市の地域社会と佛教大学の地域連携活動に関する研究」（2018～2021年度）

▶研究代表：近藤敏夫 社会学部教授  
▶中山間地域をはじめとして、さまざまな困難を抱える地域における地域社会・学校教育・医療の多様な側面を掘り下げ、本学が今後どのような連携活動を展開すべきかを考察する。

## 総合研究所開設30周年 佛大の知を集結させ、チャレンジ精神を貫いた30年

総合研究所長

野崎敏郎

×

学長 伊藤真宏

2021年4月に開設30周年を迎えた総合研究所。これまでの歩みや研究活動について、歴代最長となる在任7年目の野崎敏郎総合研究所長と伊藤真宏学長に語り合ってもらいました。

### 佛大アカデミズムの高揚を目指して設立

野崎敏郎（以下、野崎） 総合研究所は1991年4月、仏教文化・仏教社会事業・歴史・心理学・社会学の5つの研究所を統合し、学部学科を超えた研究交流と学際研究による佛大アカデミズムの高揚を目指して設立されました。仏教を中心に人文および社会科学に関する総合的な研究を行い、文化の発展に寄与することを目的にしています。つねに時代の課題を意識しながらの30年でした。

伊藤真宏（以下、伊藤） 当時、専任研究員の配置とプロジェクト研究の推進という2本立てが画期的だなと感じたものです。実は私は、最初の共同研究で研究補助員の立場で参加させていただいたのですが、あれから30年も経つのかと驚きます（笑）。その後のプロジェクト研究でも折々で関わっており、総合研究所の発展

とともに自分も成長したのかと感慨深いですね。  
野崎 設立時の伊藤唯真学長は発足にあたり、「学際的視点」と「専門諸科学の総合」という見地を強調し、「総合研究所報」第1号に寄稿されています。視座も方法論も異なる全学部の知を集結させようという意気込みを強く感じます。

### 総合研究所の真価を發揮「東日本大震災公開シンポジウム」

野崎 今年度は東日本大震災から10年目をむかえました。総合研究所では、2011年10月から東日本大震災公開シンポジウム（全6回）を開催しました。後に『3.11社会と人間に問われるもの—東日本大震災シンポジウム』として刊行しました。伊藤 このシンポジウムは秀逸です。震災7カ月後に佛教大学の全学部が一堂に会し、知恵を絞ったという社会的使命の原動力こそ、総合研究所の真骨頂ではないかと思えます。「祈り」に光が当てられるなど、世の中の宗教観も変化したように感じましたし、佛教大学としての真価が問われるテーマでした。  
野崎 当時印象的だったのは、学生が震

災翌日から自主的・自発的にボランティア活動を始めていたことです。この大難にわれわれはどう立ち向かうべきか、彼らに背中を押されているように感じ、若い感性に刺激を受けたのを覚えています。

### 困難な課題に立ち向かう研究者をサポートしたい

野崎 総合研究所の特徴である共同研究制度は、約10年ごとに制度を見直し、種類や研究期間は異なるものの、これまで予備研究を含め55の共同研究が実践されてきました。今年度は、1つの常設研究、3つのプロジェクト研究が進行中です。伊藤 進行中のプロジェクト研究では、保健医療技術学部の安居幸一郎教授らの「With コロナ時代の看護学生に対するVR（仮想現実）臨床実習法の開発およびキャリアデザインの動向調査とその支援」は、VRという最新ツールを用い、コロナ禍により看護実習に行けないデメ



### 2021年度進行中の共同研究紹介



# 1 佛教大学の新たなメインビジュアル完成!

佛教大学のメインビジュアルが新たに完成しました。法然上人の教えである「還愚」をキーワードに、自分自身をしっかりと見つめ、本当の自分を認め、自分と向き合い、自分ができることを手に入れ、それをしっかりと携えて未来へ歩んでいく、という想いをこめて、「はじまりは、自分のなかにある。」と表現しています。

JR東海道新幹線京都駅上りホーム、阪急梅田駅の3階コンコース、京都市営地下鉄などに掲出しています。



地下鉄四条駅 阪急梅田駅 新幹線京都駅

# 5 「第12回 佛教大学ホームカミングデー」オンラインで開催

11月3日、佛教大学での懐かしい日々を同窓生に思い返していただく「ホームカミングデー」を開催しました。昨年に続き、オンライン開催となり、伊藤真宏学長と原清治副学長による対談「佛教大学の今とそしてこれから」のライブ配信のほか、各学部学科の企画などが行われ、全国から多くの同窓生に参加いただきました。



大野雄大投手に「佛教大学同窓会最優秀奨励賞」が授与されました

# 6 軟式野球部 全日本大学軟式野球選手権大会 準優勝!



軟式野球部は、11月14日～19日に大阪府で行われた「第43回全日本大学軟式野球選手権大会」に近畿学生軟式野球連盟代表として出場し、決勝戦で法政大学（東京六大学軟式野球連盟代表）に敗れましたが、準優勝の結果を残しました。

# 2 祝・大野雄大投手 東京オリンピックで金メダル!

プロ野球中日ドラゴンズの2020オリンピックに野球大野雄大投手（2011年日本代表選手として出場し、7月に開催された東京金メダルを獲得しました。大野投手は、アメリカとの準々決勝戦、1点を追う9回表に登板。無失点に抑え、逆転勝利への流れを日本に引き寄せました。大野投手、おめでとうございます!



© 中日ドラゴンズ

# 3 教育学部幼児教育学科 2022年4月開設

これまで教育学科、臨床心理学科で培われた教育の実績をもとに、2022年4月、教育学部に幼児教育学科を新設します。より幅広く専門的な知識と実践的な経験をバランスよく学び、現場が必要とする先生を養成します。詳しくは、ホームページ内「幼児教育学科特設サイト」をご覧ください。



# 4 「妙響庵」誕生

15号館1階ホールを「妙響庵」と命名しました。「妙響」とは、阿弥陀如来が発する声の特徴を示すもので、阿弥陀如来の発する声の世界の救いを求める人々に届くものであると同様に、このホールから発信する学問成果やさまざまな情報が、学びの機会を求める人々の「学び」の扉を開くものとなり、本学の知的資源が多くの人々に共有されていくことを願って名づけられました。

# 7 「第55回鷹陵祭」開催

11月1日～3日、第55回となる学園祭、鷹陵祭を開催しました。前日には、「鷹陵祭・イヴ」を開催。今年のテーマは、「鷹花爛漫」。桜の花が満開になってみごとに咲き乱れているさまという意味の「桜花爛漫」にちなみ、暗い話題の続く世の中の全ての人の日常を彩る鷹陵祭を作りあげたいという思いが込められています。今年も、対面とオンラインを併用する形でパワーアップ！学内を彩るイルミネーションからはじまり、課外活動団体のパフォーマンスや、模擬店などが行われました。また、声優の森久保祥太郎さん、立花慎之介さんによるトークショーや、お笑いライブを本学学生限定でYouTube配信しました。学内への入構は、学生・教職員限定でしたが、ステージの様子をYouTube配信するなど、多くの方に楽しんでいただけるよう工夫し、参加した学生たちは、楽しそうな表情を浮かべていました。



B-ism 2021 December





カリキリウム研究事典



訳者代表／田中耕治(教育学部 教授)  
ミネルヴァ書房  
2021年7月  
定価(税込)22,000円

京都の中世史 1 撰閣政治から院政へ



共著／佐古愛己(歴史学部 教授)  
古川弘文館  
2021年11月  
定価(税込)2,970円

BOOK Information 本

本学の教員による刊行物をご紹介します。

著者  
出版社  
出版日  
価格

戦後日本の宗教者平和運動



編著／大谷栄一(社会学部 教授)  
ナカニシヤ出版  
2021年11月  
定価(税込)3,960円

非認知能力 ―概念・測定と教育の可能性―




分担執筆／箕浦有希久(教育学部 講師)  
北大路書房  
2021年8月  
定価(税込)2,860円

京都学派と自覚的教育学  
―篠原助市・長田新・木村素衛から戦後教育学まで―




著／矢野智司(教育学部 教授)  
勁草書房  
2021年8月  
定価(税込)8,250円

ネットじめの現在(いま)  
子どもたちの職場でなにが起きているのか



編著／原清治(教育学部 教授)  
ミネルヴァ書房  
2021年9月  
定価(税込)2,420円

「自立支援介護」を問い直す  
介護保険を使わないのが「自立」なのか



共著／新井康友(社会福祉学部 准教授)  
日本機関紙出版センター  
2021年10月  
定価(税込)1,540円

国際機構 新版



分担執筆／原田徹(社会学部 講師)  
岩波書店  
2021年7月  
定価(税込)3,080円

大麻の社会学



著／山本奈生(社会学部 准教授)  
青弓社  
2021年7月  
定価(税込)3,740円

放送コンテンツの海外展開  
―デジタル変革期におけるパラダイム




編著／大場吾郎(社会学部 教授)  
中央経済社  
2021年8月  
定価(税込)2,970円

地べたから考える精神科作業療法



著／中西英一(保健医療技術学部 准教授)  
CBR  
2021年8月  
定価(税込)3,520円

きかせてあなたのきもち  
子どもの権利ってしってる？




著／長瀬正子(社会福祉学部 准教授)  
ひだまり舎  
2021年9月  
定価(税込)1,980円

障害者家族の老いる権利



著／田中智子(社会福祉学部 教授)  
全国障害者問題研究会出版部  
2021年7月  
定価(税込)1,980円

ワクチン職域接種を実施



8月下旬から10月上旬にかけて、学生・教職員等を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種を受けました。

接種の運営は、医師免許、看護師免許を有する本学の教員をはじめ、健康管理センター職員および事務職員が担当し、看護学科の学生もボランティアスタッフとして参加しました。

オープンラーニングセンター開設記念講演会開催

● 9月7日(写真①)  
「学びと仏教 ~あなたの「学び」の扉を開く~」  
登壇者 松山大耕(妙心寺退蔵院副住職)、伊藤真宏(佛教学部学長)  
会場 紫野キャンパス礼拝堂

● 9月17日(写真②)  
「宇宙と仏教 ~近未来の人間の生き方~」  
登壇者 岩淵泰晶(JAXA主任)、田中典彦(学校法人佛教教育学園理事長)  
会場 鎧籠堂淨教寺



※講演会の様子は、「佛教大学公式youtubeチャンネル」でご覧いただけます。

強化指定スポーツ 10 (硬式野球部・陸上競技部女子中長距離部門)



硬式野球部は、春季に続き、京滋大学野球秋季リーグ戦において、6季連続58回目のリーグ優勝を果たしました。続く関西地区代表決定戦では、決勝戦で天理大学(阪神大学野球連盟)に勝利して優勝を果たし、関西五連盟第一代表として、10年ぶり6回目の明治神宮野球大会出場を決めました。11月20日からの明治神宮大学工学部(中国・四国三連盟代表)に勝利し、続く準々決勝で、中央学院大学(関東五連盟第一代表)に惜しくも敗れましたが、ベスト8の成績を収めました。

陸上競技部女子中長距離部門は、関西学生対校女子駅伝大会において4位となり、全日本大学女子駅伝大会へ4年連続20回目の出場を決めました。10月31日、仙台市にて開催された全日本大学女子駅伝大会では、2時間10分27秒、総合15位で襷をつなぎました。現在は、12月30日に行われる全日本大学女子選抜駅伝(富士山女子駅伝)にむけて練習を重ねています。

2022年も引き続き、皆様からの声援をよろしくお願いたします。





通信教育に関するお知らせ 2022年度前期 通信教育課程 入学説明会

全国各地で開催します。多数のご来場をお待ちしております。

開催日	開催時間	開催地	開催会場	種別※	開催日	開催時間	開催地	開催会場	種別※
1月29日(土)	11:00~16:00	札幌	アステイ45ビル ACU 16階	合同	2月13日(日)	10:00~16:00	京都	二条キャンパス	単独
		名古屋	名古屋ATビル 2階 名古屋サンスカイルーム	合同	2月19日(土)	11:00~16:00	福岡	エルガーラ 8階大ホール	合同
1月30日(日)	11:00~16:00	大阪	阪急グランドビル 26階	合同	2月20日(日)	11:00~16:00	東京	新宿エルタワー30階 サンスカイルーム	合同
2月 5日(土)	11:00~16:00	横浜	横浜新都市ビル(そごう) 9階横浜新都市ホール	合同	3月 6日(日)	10:00~16:00	大阪	ECC国際外語専門学校	単独
2月 6日(日)	11:00~16:00	東京	新宿エルタワー30階 サンスカイルーム	合同	3月12日(土)	10:00~16:00	京都	二条キャンパス	単独
2月11日(金)	11:00~16:00	大阪	マイドームおおさか1階 展示ホールA	合同	3月19日(土)	10:00~16:00	大阪	ECC国際外語専門学校	単独
2月12日(土)	11:00~16:00	名古屋	名古屋ATビル 2階 名古屋サンスカイルーム	合同					

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止となる場合があります。

※種別について 単 独：本学独自の入学説明会です。事前予約制にて個別相談をお受けします。  
合 同：私立大学通信教育協会主催の合同入学説明会です。事前予約制にて個別相談をお受けします。

通信教育課程 講演会

日程	開催時間	会場	講師	テーマ(仮題)
2022年 2月27日(日)	13:00~14:00	●大阪・グランフロント大阪 北館タワーC8階 ●オンライン(YouTubeLive) (※同時開催)	原 清治 佛教学部副学長・ 教育学部教授	子どもたちの世界で何が起こっているのか？ —教師・保護者が子どもたちと向き合う ために—



※事前申込制。通信教育課程  
ホームページからお願いいたします。

お問い合わせ：生涯学習部

研究活動

「研究活動報 manako」を  
ご存じですか？



本学ホームページに「研究活動報 manako」と  
題して、本学教員の研究活動を発信しています。  
是非ご覧ください。



オープンラーニングセンター(O.L.C.)

公開講座受講生募集中!

1984年の開設以来、数多くの公開講座を提供してきた四条センターが、2021年4月、  
佛教学部紫野キャンパスに移転、オープンラーニングセンター (O.L.C.) として生まれ  
変わりました。ICT を活用し対面とオンラインを融合した新たな講義スタイルで展開し、  
いつでも、誰でも、どこからでも、あなたの「学び」の扉を開きます。



宗教文化ミュージアム イベントカレンダー(2022年1月~3月) 2022年4月以降のスケジュールは、2022年3月下旬頃にホームページに掲載予定です。

宗教文化に関する有形・無形文化財の調査・資料収集および保存・公開、宗教文化情報の高度利用化などを行い、その成果を広く公開しています。

開館時間 10:00~17:30(※入館は17:00まで) お問い合わせ先 宗教文化ミュージアム  
〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26  
TEL:075(873)3115 FAX:075(873)3121



日時	内容
1月11日(火)~1月31日(月)	平常展示「祈りと祀り、そして暮らし—宗教文化研究への誘い—」 ※日曜日休館
2月19日(土)~3月19日(土)	企画展「佛大遺遺Ⅷ—美術史の資料を紐解く—」 ※日曜日・祝日休館
3月 6日(日) 13:00~16:30	第46回シアター公演「民俗芸能を担う若者たち 京都子ども六斎教室」 <オンライン開催>

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、内容変更や開催中止となる場合があります。最新の情報は当ミュージアムのホームページをご確認ください。

**B-ism** 2021 December

9月末の緊急事態宣言解除を受けて、一部の授業を除き、対面授業が再開され、学生が再びキャンパスにもどってきました。楽しそうな学生の姿を見ると、学生あつてのキャンパスだと改めて感じます。  
今号の巻頭対談では、今年度で最終回を迎える「佛教学部小学生俳句大賞」とことばの楽しさについてお話しいただきました。第1回の俳句大賞に応募した子どもたちの中にはすでに社会人になっている方もいます。教師になり、教え子の作品を俳句大賞に応募してきているかもしれないと想像すると、15年の重みを感じます。  
長らく続けてこれられましたことに感謝申しあげるとともに、第15回小学生俳句大賞への作品応募おまちしております。

佛教学部広報課

**B-information**  
みんなの掲示板  
2022年 主な行事予定

Date 1/8 (sat.) 始講式

Date 2/1 (tu.)・2/wed.・3/thu. 一般選抜(A日程)<2科目型>

Date 3/5 (sat.) 一般選抜(B日程)

Date 3/18 (fri.) 学位記・卒業・修了証書授与式(通学課程3月卒業・修了)

Date 3/25 (fri.) 前期学位記・卒業証書授与式(通信教育課程)

2022年度入学宣誓式

『B-ism』のバックナンバーが見られます

当誌『B-ism』は、佛教学部広報課が発行する広報誌です。  
佛教学部の「人・教育・研究」などをより多くの方々に知っていただく目的で、佛教学部の魅力を伝えるべくさまざまな企画をお届けしています。  
これまで発行された『B-ism』は本学ホームページからも閲覧できます。

佛教学部 公式SNS

公式 Facebook アカウント名: bukkyo.univ

公式 Twitter アカウント名: @bukkyo\_univ

公式 Instagram アカウント名: bukkyouniversity

《アドレス》  
https://www.bukkyo-u.ac.jp/about/activity/publicity/  
トップページ ▶▶▶ 大学案内 ▶▶▶ 大学広報

読者プレゼントのお知らせ

アンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で佛教学部オリジナルグッズをプレゼントいたします。  
以下の応募フォームよりご応募ください。

《応募フォーム》  
https://www.bukkyo-u.ac.jp/about/activity/publicity/form/b-ism23.html ▶▶▶

※応募締切：2022年2月20日  
※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

(1)「ぶったん」首ふりマスコット 3名

(2)「ぶったん」スクイーズ 10名

(3)「小学生のための俳句入門」(監修・坪内稔典/編集協力・佛教学部) 5名

入試に関するお知らせ 2022年度佛教学部入学試験日程

一般選抜(A日程)		
試験日	出願期間	試験会場
<2科目型>1月30日(日)	WEB出願	京都(本学)
<3科目型>2月1日(火)・2日(水)・3日(木)	12月23日(木)~1月17日(月)	京都(本学)・東京・金沢・名古屋・米原・福知山・大阪・神戸・奈良・和歌山・米子・広島・高松・福岡
一般選抜(B日程)		
試験日	出願期間	試験会場
3月5日(土)	WEB出願 2月4日(金)~2月21日(月)	京都(本学)・名古屋・彦根・大阪・神戸・岡山
大学入学共通テスト利用選抜		
試験日	出願期間	試験会場
前期 ◎大学入学共通テスト 1月15日(土)・16日(日)	WEB出願 1月6日(木)~1月27日(木)	※個別学力検査は実施しません
後期	WEB出願 2月4日(金)~2月28日(月)	※個別学力検査は実施しません

※大学院、編入学、社会人1年次等の入試について、詳しくは本学ホームページ「入試情報」をご確認ください。  
※佛教学部入試情報サイト「FIND! WEB」では、入試やオープンキャンパスなどの最新情報をお届けしています。▶▶▶



お問い合わせ：入学部